

第 6 号様式（第 5 の 2 関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和 8 年度 第 1 回 沖永良部警察署協議会
会 議 日 時	令和 8 年 6 月 10 日（水）午後 3 時 30 分から午後 5 時
会 議 場 所	沖永良部警察署会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長代理以下 5 人 2 警察署 署長以下 7 人
（会議の概要） 1 会次第 (1) 開会のことば (2) 会長代理挨拶 (3) 協議等 ア 管内における事件・事故等の取扱状況 イ 令和 7 年度第 3 回警察署協議会の答申を受けた当署の取組状況 ウ 委員からの意見・要望 エ 警察署長の諮問及び委員の答申 オ 速度取締りの指針について (4) 閉会のことば 2 令和 7 年度第 3 回警察署協議会以降の当署の取組状況 (1) 管内各学校への交通安全教室・防犯教室等の機会に、教職員に対して特殊詐欺の最新手口の紹介等、被害防止広報を実施 (2) 各種団体の総会開催時期（4 月～5 月）に合わせ、管内の町内の老人会や各団体の総会のほか、区長会定例会等に参加し、特殊詐欺被害防止講話を実施 (3) 沖永良部地区防犯協会等の関係機関・団体と合同で、管内の商業施設及び金融機関前において特殊詐欺被害防止を呼び掛けるキャンペーンを実施 3 委員からの意見・要望・質問等 (1) 委員から「自転車の交通反則通告制度が適用されたが、町内では歩道から道路への急な横断など、危険な運転をする自転車をよく見かける。各学校や地域住民等への交通安全教育を推進して欲しい。」旨の要望があり、警察署から「本年も引き続き交通安全教室を実施中であり、年齢に応じた安全教育を推進しつつ、悪質・危険な違反については検挙方針で臨んでまいりたい。」旨の説明があった。 (2) 委員から「今年度も夏祭りで事件や事故が発生しないよう、未成年者の犯罪被害防止を含め警戒をお願いしたい。」旨の要望があり、警察署から「今年度も主催者や防犯団体等と連携し、事件・事故のない夏祭りに向けて取り組んでまいりたい。」旨の説明があった。 (3) 委員から「最近、子ども 110 番の家の旗を掲げた民家等を見かけなくなった気がする。数が減少しているのであれば、設置を推進して欲しい。」旨の要望があり、警察署から「現在、管内では 81 軒の商店や民家等に委嘱しており、この数年で顕著な増減はないため、旗の劣化等が原因でのぼり旗を立てていない可能性がある。早期に旗の調査を実施し、必要に応じて旗の交換・再配布を行いたい。」旨の説明があった。 (4) 委員から「最近、与論町内で盗難事件が複数発生しているという噂がある。最近の与論町内での盗難事件の発生状況や近年の盗難発生の推移が分かれば教えてもらいたい。」旨の要望があり、警察署から本年 5 月末現在の盗難発生件数と手口種別の内訳を説明。また、過去 3 年間の盗難認知状況を紹介し、認知件数自体	

は減少傾向にあること等を説明した。

- (5) 委員から「以前逮捕された住民が島内に戻ってきたようで、住民も不安を感じている。逮捕された人については、警察から自治体への情報提供等があるのか。また、再犯防止に向けた仕組み等があれば教えて欲しい。」旨の意見があり、警察署から「犯罪経歴は個人情報の中でも特に配慮を要するものとして位置づけられており、警察から町民や行政機関へ情報提供することは困難である。なお、再犯を含め犯罪発生が予想される場合は、巡回連絡や広報紙等を通じて防犯情報を提供し、住民の不安解消に努めてまいりたい。」旨の説明があった。

4 諮問・答申

警察署長から「昨今の少子化による就職適齢人口の減少や、民間企業への就職希望者増加等が要因となって、警察官採用受験者が大幅に減少しており、このままのペースで推移すれば、将来の治安維持への影響も懸念される。現在、県警察としても様々な採用募集活動を実施中であるが、委員から住民目線での効果的な採用募集活動について御意見をいただきたい。」旨の諮問がなされた。

これに対して、委員からは「地元出身の警察官による母校訪問や、受験対策の動画配信をしてはどうか。」、「受験生世代だけでなく保護者向けの説明会等を企画するのも効果的だと思う。」、「SNSを活かして、若者が将来の自分をイメージできるような広報が必要。」、「民間企業が導入しているリファラル採用（同僚からの推薦）を参考にしてはどうか。例えば、署員から見て警察官に向いていると感じる若者がいれば、積極的にターゲットとして声かけしていくことも必要だと思う。」等の答申がなされた。

備 考	
-----	--